

としま 生きものさがし

ニュースレター 令和元年号

編集・発行：豊島区 環境清掃部 環境政策課

今年もみんなで見つけました！

ちょうさきかん
調査期間

れいわがん
令和元年6月1日～9月30日

としまく みちか しら ちょうさ おく
豊島区の身近な生きものを調べて調査レポートを送っていただく
「としま生きものさがし」は、今年度で5年目になりました。
まち
街なかでも、いろいろな生きものが毎年みつかっていますよ。



ツマグロヒョウモン 南長崎六丁目
オレンジ色のきれいなチョウ。



ナミテントウ (幼虫) 池袋三丁目
幼虫もアブラムシを食べます。



ゴマダラカミキリ 西池袋三丁目
黒く光る背中と青いあしがきれいですね。



コフキコガネ 雑司が谷三丁目
粉をふいたように見えるコガネムシ。



アブラゼミ 雑司が谷三丁目
おなじみのゼミです。



アオドウガネ 南池袋二丁目
区内でよく見られるコガネムシ。



ワカケホンセイインコ 長崎六丁目
緑色の体に赤いくちばし。きれいなインコ。



ショウリョウバッタ 池袋三丁目
草たけが高めの草むらにいます。



アズマヒキガエル 長崎五丁目
小学校、幼稚園、保育園にもいました。



ニホンヤモリ 目白三丁目
民家のかべにいました。



シオカラトンボ 池袋三丁目
区内によくいる水色のトンボ。



ヒメアカタテハ 池袋本町一丁目
ツマグロヒョウモンとどこがちがうかな？

生きもの情報件数
861件 (962件)

参加人数
のべ421人 (642人)

さがしてほしい生きもの
661件 (735件)

※ () 内は平成30年度の数字

第1位 チョウのなかま

公園、小学校、保育園、幼稚園の花壇などにいました。



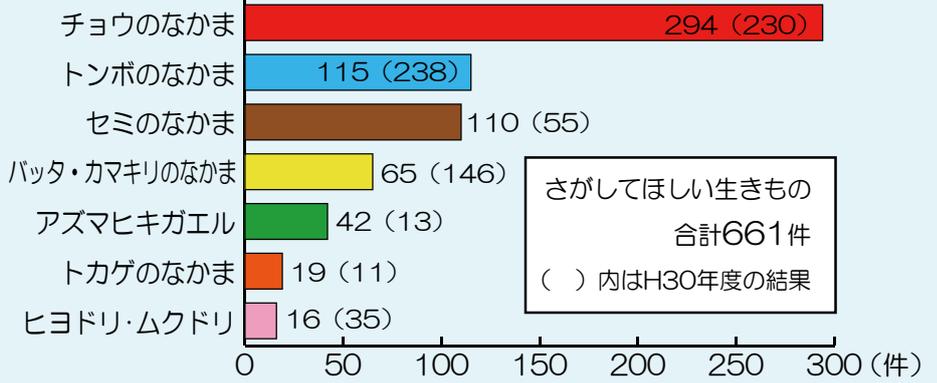
第2位 トンボのなかま

小学校のプールに幼虫、校庭や公園などに成虫がいました。



第3位 セミのなかま

公園、小学校、道路沿いなど、木のあるところにいました。



今年はチョウのなかまの件数が過去5年で最も多かったです。アズマヒキガエルの件数が多いのも特徴で、小学生、保育園児のみなさんから特に多くの報告が集まりました。公園、小学校、保育園、道路などにいるカエルを見つけてくれました。トカゲのなかまの件数も増えました。全てニホンヤモリでした。



チョウのなかま 294件
アゲハチョウのなかま122件、モンシロチョウ60件、キタキチョウ18件、その他40件、種不明54件
写真：ヤマトシジミ 池袋四丁目



トンボのなかま 115件
アキアカネ28件、シオカラトンボ25件、オオシオカラトンボ12件、その他4件、種不明38件
写真：ギンヤンマ 長崎六丁目



セミのなかま 110件
アブラゼミ33件、ミンミンゼミ17件、ツクツクボウシ8件、ヒグラシ1件、種不明51件
写真：ミンミンゼミ 雑司が谷三丁目



バッタ・カマキリのなかま 65件
バッタのなかま35件、カマキリのなかま30件
写真：オンブバッタ池袋三丁目



アズマヒキガエル 42件
公園、小学校、保育園、道路などで見つかりました。
写真：アズマヒキガエル 長崎六丁目



トカゲのなかま 19件
小学校、保育園、幼稚園、民家の壁などで見つかりました。
写真：イメージ写真 (ニホンヤモリ)



ヒヨドリ・ムクドリ 16件
ムクドリ11件、ヒヨドリ 5件
写真：イメージ写真 (ムクドリ)



団体参加では、高松第二保育園の園児のみなさん、南長崎はらっぱ公園を育てる会のみなさんが参加してくださいました。
たくさんの生きもの情報をありがとうございました。

参加してくださった皆様、
ありがとうございました。



生きものトピックス



「としま生きものさがし」では、みなさんに多くの調査レポートを送っていただき、あまり知られていない区内での生きものの情報や、その場所・環境ならではの情報も集められました。今年の生きものさがしの調査レポートの中からいくつか生きものを紹介しします。

区内にもいた タカのなかま

タカのなかまがいたという調査レポートが届きました。写真を見たところ、ツミというハトくらいの大さの鳥だということが分かりました。東京都の絶滅危惧種です。2015年の専門家調査では調査した場所に尾羽が落ちていのが発見されました。しかし、羽根を見つただけでは人が落としていた可能性もあるため、正式な記録にするのは難しい状態でした。

今回写真も送っていただいたことで確かに区内にいることが分かり、種類も分かりました。



ツミ 長崎六丁目

最近よく見られるようになった カメムシ



最近東京でも、よく見られるようになったカメムシの報告が今年は調査レポートの中にもありました。キマダラカメムシという外国から来たカメムシです。台湾、中国、東南アジアなどに生息しています。ちなみに2016年度に行われた専門家による昆虫調査では見つかっていませんでした。

みなさんの調査レポートは今の豊島区の生きものを知る手がかりになっています。



キマダラカメムシ 南長崎六丁目

シダにかくれた いも虫



シダの上にいるいも虫の写真を送ってもらいました。写真の真ん中に黒いしまもようのある緑色のいも虫がいるのが分かりますか？葉にまぎれて見つけにくくなっていますね。幼虫の時にシダの葉を食べるキスジツマキリヨトウというガです。



キスジツマキリヨトウの幼虫 長崎五丁目

イベント報告

2019としまエコライフフェア

としまエコライフフェアは、楽しみながら環境にやさしい暮らしについて考え、学ぶイベントです。今年は7月27日に区役所の1階で開催されました。「知る」「作る」「遊ぶ」の3種類のブースがあり、各ブースで以下のようなことを楽しんでもらいました。

「知る」・・・環境にやさしいエネルギー、省エネ、ごみの減量、おいしい水、身近な生きものなどのことが学べるブース

「作る」・・・押し花しおりづくり、牛乳パックのリサイクル工作、リサイクル石けんづくり、自然あそびなどを体験できるブース

「遊ぶ」・・・地球温暖化対策につながる賢い選択クール・チョイスについて学べる「クール・チョイスすごろく」で遊びながら学べるブース



今年は「知る」のブースに生きものを学ぶブースを集め、チョウやヤゴ、外来生物のことなどを多くの人に学んでいただくことができました。当日は「としま生きものさがし」の調査レポートも集めていましたが、おかげさまでたくさん集まりました。

としま生きものさがしについて

なぜ、生きものをさがすの？

地球上には、たくさんの生きものたちがいろいろな場所で暮らし、お互いに支え合って生きています。

「としま生きものさがし」は、身近な生きものをみなさん自身で調べてもらうことで、身近な生きものへの理解や関心を深めていただくことを目指しています。

さがした結果はどうやって見るの？

ニュースレターや区のホームページ（生物多様性のページ）でお知らせします。これまでのニュースレターも区のホームページからダウンロードできます。

環境省運営のwebサイト「いきものログ」にも情報を入力していますので、区内にどんな生きものがいるか調べることができます。

どうやって参加するの？

2020年度の参加方法については、区の広報やホームページでお知らせします（2020年6月を予定）。

(おもて)

(うら)

2019年度 としま生きものさがし調査ガイド (A3サイズ)

おすすめ！生きもの観察スポット

みらい館大明 (池袋3-30-8) 最寄駅：要町駅または池袋駅



みらい館大明は、平成17年3月末に閉校した大明小学校跡施設を活用し、地元有志で設立したNPO法人が管理・運営する生涯学習施設です。地域のサークル活動や勉強会への施設貸出、地域交流イベントや各種講座の開催などを行っています。

グラウンドの奥にある緑のエリア（大明の森）は、区内の生きものスポットになっており、定期的には開放日を設けています（基本は毎月第四日曜日の午後）。樹木や花壇の花や草むら、池には、いろいろな生きものがやってきます。今年もアゲハ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、オオシオカラトンボ、アズマヒキガエルなどの調査レポートが集まりました。

表紙のナミテントウ、ショウリョウバッタ、シオカラトンボは、みらい館大明で撮影されたものです。毎年、さくらまつり（4月）、花火大会（8月）、みらい館大明まつり（10月）などの地域交流イベントが行われています。興味のある方は、みらい館大明のホームページやフェイスブックをチェックしてみてください。機会があれば、イベントの時や開放日に生きものを観察してみてくださいね。



講座の様子



グラウンド奥の池

みらい館大明 豊島区池袋3-30-8
TEL 03-3986-7186 (受付時間：午前9時～午後9時)
URL <http://www.toshima.ne.jp/taimei/index.html>